

- 問1 1980年と比較して2020年の人口統計において、人口が増加している都道府県の数が増えている都道府県の数よりも多く、かつ人口100万人以上の都市が域内に二つ以上存在している日本の地方の組み合わせとして、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 関東地方と近畿地方                      2. 東北地方と中国地方                      3. 九州地方と北海道                      4. 中部地方と四国地方
- 
- 問2 「年間の日照時間」と「住宅用太陽光発電機器の設置数」の関係を示したデータにおいて、日照時間が2000時間を超えるほど長い地域は、一般的に設置数も多くなります。しかし、関東地方に位置するある県は、日照時間が長いにもかかわらず設置数が5万件を下回っており、静岡県や愛知県などの他の太平洋側の県とは異なる傾向を示します。横浜市の県庁所在地に持つこの県はどこですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 千葉県                      2. 埼玉県                      3. 神奈川県                      4. 東京都
- 
- 問3 群馬県などの標高が高い地域では、夏の涼しい気候を活かしてキャベツなどの野菜を栽培する農業が行われています。このような地理的条件を利用した農業の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. 近郊農業                      2. 高冷地農業                      3. 施設園芸農業                      4. 二毛作
- 
- 問4 小田原城跡周辺などの関東地方の土壌について述べた説明文において、箱根山や富士山から飛散した物質が厚く降り積もって形成された、酸化によって赤っぽくなった土層に関する記述があります。この土壌の性質や背景として最も適切なものはどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. 九州地方に分布するシラスと呼ばれる土壌であり、大規模な稲作地帯となっている。                      2. 花こう岩が風化してできたマサ土であり、土砂災害が起こりやすい性質を持っている。                      3. 火山灰が堆積してできた関東ローム層であり、水はけが良いため畑作に利用されてきた。                      4. 寒冷な湿地で植物が不完全に分解されてできた泥炭であり、燃料として利用される。
- 
- 問5 東京都の南に位置し、相模湾に面するある県について述べた文として、統計上の特徴と合致する名称を選択してください。この県は京浜工業地帯の中核をなし、製造品出荷額等が極めて高い規模を誇る一方、水稲の作付面積はわずか0.3万ヘクタールと少なく、就業者数の約78パーセントをサービス業などの第3次産業が占めています。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 沖縄県                      2. 神奈川県                      3. 岩手県                      4. 北海道
- 
- 問6 日本の都道府県別の統計において、年間の日照時間が2000時間を超えて長いにもかかわらず、住宅用太陽光発電機器の設置数が5万件未満と、日照時間に比例せず少なくなっている地域があります。このように、日照条件が良いにもかかわらず設置数が伸び悩む主な要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 平地が少なく山地が多いため、住宅の当たりを確保することが困難であるため                      2. 人口密度が高く、マンションなどの集合住宅や借家の割合が高いという住宅事情があるため                      3. 製造業が盛んな地域であり、家庭用よりも工場向けの電力供給が優先されているため                      4. 土地の価格が安く、個人住宅よりも大規模なメガソーラーの建設が優先されているため
- 
- 問7 関東地方の北部に位置する群馬県のように、日本の都道府県の中には「県名」と「県庁所在地の名称」が異なるものが存在します。群馬県の県庁所在地である都市名として正しいものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 水戸市                      2. 高崎市                      3. 前橋市                      4. 宇都宮市
- 
- 問8 日本の大都市圏において、都心のオフィス街や官庁街では「昼間人口」が「夜間人口」を大きく上回る傾向があります。このような現象が起こる主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 都市中心部において、昼間の時間帯だけ地方からの観光客が一時的に住民登録を行う制度があるから                      2. 都心の再開発によって大規模なマンションが建設され、昼間に活動する主婦や高齢者の居住者が増えたから                      3. 郊外の住宅地から都市の中心部へ、多くの人々が通勤や通学のために移動してくるから                      4. 都心部では夜間の騒音問題を避けるため、住民が夜間だけ郊外へ移動するように義務付けられているから
- 
- 問9 東京都の南に位置する横浜市は、江戸時代末の開港をきっかけに急速に発展しました。この都市の歴史的な背景と現在の状況について説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 日米修好通商条約などにより開港した歴史を持ち、現在は都心部の混雑緩和や港湾機能の更新のため、臨海部の再開発が進められている。                      2. 明治時代に初めて開港された新しい都市であり、現在は東京都に代わる日本の首都機能を担うため、大規模な官庁街が整備されている。                      3. 室町時代から国際貿易港として栄えていたが、現在は人口減少が深刻な課題となっており、都心機能の一部を近隣の県へ移転させている。                      4. 江戸時代末の開港により外国人の居留地が作られたが、現在は工業専用地域としての役割を強めており、商業施設の建設は行われていない。
- 
- 問10 関東地方の各都県の統計において、人口密度が全国でも有数の高さである一方、夜間の常住人口に対する昼間の人口の割合を示す「昼夜間人口比率」が100%を大きく下回る県があります。このような統計上の特徴を持つ埼玉県のような地域は、都心へ通勤・通学する人々の住宅地としての役割が強いことから、一般に何と呼ばれますか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 工業地域                      2. ベッドタウン                      3. ニュータウン                      4. 政令指定都市
- 
- 問11 東京湾の東岸に位置する京葉工業地域では、化学工業や鉄鋼業といった重化学工業の割合が非常に高いことで知られています。この工業地域が大規模な臨海型の工業地帯として形成された背景として、最も適切な説明を選んでください。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. かつて付近に炭鉱が存在し、そこで採掘される石炭をエネルギー源として利用しやすかったため。                      2. 大規模な埋め立て地が整備され、原材料の輸入や製品の輸出に便利な港湾機能を備えたため。                      3. 内陸部の広大な土地を利用し、高速道路網の発達に合わせて自動車の組み立て工場が集中したため。                      4. 古くからの伝統産業を基盤とし、地元の豊富な労働力を生かした繊維工業が発展したため。
- 
- 問12 関東地方の各県における、常住人口（夜間人口）100人あたりの昼間人口の割合を示す「昼夜間人口比率」について、東京都はこの値が100を大きく上回っています。この理由として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 東京都は夜間の居住者数が日本で最も多いため、分母となる数値が大きくなり比率が高まっているため                      2. 群馬県などの北関東の県において、地元での就職を希望する人が増え、東京都への流入が減少しているため                      3. 埼玉県のベッドタウン化が進んだことで、東京都から埼玉県へ移住する人口が増えているため                      4. 周辺の各県から東京都へ通勤・通学する人口の流入が、東京都から外へ流出する人口を大きく上回っているため
- 
- 問13 栃木県に位置し、明治時代以降の日本の近代化を支える重要な輸出品であった銅を産出した一方で、周辺流域に深刻な被害をもたらした日本初の本格的な公害事件の舞台となった鉱山はどこですか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 足尾銅山                      2. 石見銅山                      3. 釜石鉱山                      4. 別子銅山